

4 1人1台端末の利活用に係る計画

(1) 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

※1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を通じて実現を目指す学びの姿を記載する。

ICT 環境を効果的に活用することで、個別最適な学びや支援につなげ、すべての子供たちの可能性を引き出すことを目指す。

個別最適な学びや支援が「孤立した学び」に陥らないよう、ICT を活用しながら「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、多様な他者とともに問題の発見や解決に挑む資質・能力の育成とともに、社会性の育成にもつなげていくことを目指す。

児童生徒が ICT を「文房具」として日常的に活用することで、自らの学習を調整しながら学んでいくことができるようになるとともに、教職員と情報を共有できるようなコミュニティを築き、誰一人取り残すことがない体制の構築を目指す。

(2) GIGA 第1期の総括

※令和5年度までの間に GIGA スクール構想の実現に向けて実施してきた端末と通信ネットワークの整備や、これらを活用した学びの実践のための取組等の総括を行い、その結果を記載するとともに、明かになった課題については、その解決策とともに記載すること。

(課題及び解決策としては、端末、通信ネットワーク、周辺環境等のハード面に係るもののほか、その利活用方策に係るものが想定される。)

本市では、令和2年度に国が示す「GIGA スクール構想の実現」に基づき、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを持続的に実現させるために、児童生徒に一人一台の学習用端末や大型提示装置の整備、それに対応した高速ネットワーク整備を行った。

管理システムによる一元管理を行い、一斉授業、協働学習、個別学習の各場面において、効果的に活用した授業や学習成果物の作成ができるよう、必要となる各種設定や授業支援や学習用ドリル等のソフトウェアのインストールを施している。また、学習用端末の家庭への持ち帰り運用時を想定し、フィルタリングソフトを設定している。

学習用端末や各ソフトウェア、校内 LAN ネットワーク機器のシステム保守の業務を委託し、障害が発生した場合は、早期復旧に向けて対応している。また、専用のヘルプデスクの設置と併せて、市内全校に定期的な ICT 支援員の派遣も行っている。

ICT 活用推進委員会を設立し、活用方法等の情報共有や、専門性の高い研修を実施している。また、全教職員を対象とした外部講師による ICT 関連の希望研修も毎年複数回実施しており、教職員のスキルアップに繋げている。「鎌ヶ谷市 Chromebook 活用年間実践プラン」を作成し、全教職員が見通しをもって指導できる体制を構築している。

「Chromebook の使い方ルール」、「Chromebook の持ち帰り使い方ルール」を作成し、児童生徒が責任をもって利用できるようにしている。同時に、情報モラルの指導は計画的に実施し、長期休業中は動画サイトの規制を行うなどして、児童生徒が安全かつ安心して利用できるようにしている。

(3) 1人1台端末の利活用方策

「教育DXに係る当面のKPI」に示しているKPIにもとづく現状と目標

項目	KPI	現状値(R6年度)	目標値(R9年度)
1人1台端末の整備	指導者用端末整備済みの率	100%	100%
	1人1台端末を常時活用ができるよう、十分な予備機を整備しているか。	整備している	整備されている
ネットワークの改善	無線LAN又は移動通信システムによりインターネット接続を行う普及教室の率	100%	100%
	端末利用に係る回線の速度を計測・把握した学校の率	100%	100%
	必要なネットワーク速度を確保済みの学校の率	0%	100%
校務のデジタル化	FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	0%	100%
	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の率	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率	0%	100%
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	18%	100%
	情報通信技術支援員(ICT支援員)の配置	配置済み	配置されている
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	100%	100%
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	93%	100%
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%	100%
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	71%	80%
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	93%	100%
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を	64%	80%

	週3回以上使用させている学校の率		
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	71%	80%
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	50%	100%
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	29%	100%
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	43%	100%
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	93%	100%